

**製品名: ASK1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21269**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:400,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:155kD;Observed MW:155kD

**抗原情報**

遺伝子名	MAP3K5 MAP3K5;ASK1;MAPKKK5;MEKK5;Mitogen-activated protein kinase kinase kinase
別名	5;Apoptosis signal-regulating kinase 1;ASK-1;MAPK/ERK kinase kinase 5;MEK kinase 5;MEKK5
遺伝子 ID	4217.0
SwissProt ID	Q99683
免疫原	ヒト ASK1 の合成ペプチド

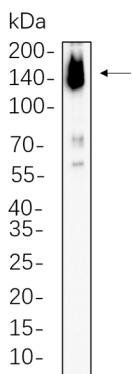
**背景**

細胞局在: 細胞質。マイトジェン活性化プロテインキナーゼ (MAPK) シグナル伝達カスケードには、MAPK (細胞外シグナル調節キナーゼ)、MAPK キナーゼ (MKK または MEK)、MAPK キナーゼキナーゼ (MAPKKK または MEKK) が含まれます。MAPKK キナーゼ/MEKK は、下流のプロテインキナーゼである MAPK キナーゼ/MEK をリン酸化して活性化し、MAPK を活性化します。これらのシグナル伝達カスケードのキナーゼは高度に保存されており、酵母、ショウジョウバエ、哺乳類細胞に相同遺伝子が存在します。MAPKKK5 は、1,374 個のアミノ酸を含み、11 個のキナーゼサブドメインすべてを有します。ノーザンブロット解析により、MAPKKK5 転写産物はヒトの心臓と脾臓で豊富に発現していることが示されています。MAPKKK5 タンパク質は、試験管内で MKK4 (別名 SERK1、MAPKK4) をリン酸化して活性化し、COS 細胞および 293 細胞での一過性発現中に c-Jun N 末端キナーゼ (JNK) /ストレス活性化プロテインキナーゼ (SAPK) を活性化する。MAPKKK5 は MAPK/ERK を活性化しない。[Re 提供]

## 研究分野

-

## 画像データ



SiHa 細胞ライセートを 4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを ASK1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッキングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。